

## 『郵政博物館 研究紀要』投稿規程（平成30年度）

- 1 応募資格  
「郵政事業および通信の歴史と文化に関する諸問題」に関する研究者であること。
- 2 論文等テーマ  
「郵政事業および通信の歴史と文化に関する諸問題」について自由に論題を設定した研究論文・研究ノート・資料紹介とする。
- 3 応募の条件  
郵政博物館の資料、またはそれと同様の基礎資料を活用したものとする。  
日本語で書かれたものとする。  
応募は1人1編（共同執筆は可）のみとする。  
応募原稿は未発表のものに限る。また、他の学会誌などとの二重投稿は認めない。  
応募原稿の返却はしない。
- 4 論文等応募方法  
論文等の投稿を希望する執筆者には、あらかじめ所定の「『郵政博物館 研究紀要』応募用紙」（以下、「応募用紙」と表記）を編集委員会へ提出し、投稿についての許可を得ること。
- 5 「応募用紙」の入手方法  
「応募用紙」は、2018年5月11日（金）午前10時以降に、下記入手先宛に、返信用封筒（角2サイズ）を同封の上、郵送をもって請求すること。その際、封筒表には「応募用紙希望」と朱書で記入すること。  
なお、返信用封筒は、返信先住所・氏名のほか、140円切手（速達希望の場合はさらに280円分の切手）を貼付した上で同封すること。送付先記入および切手貼付がない場合は発送しかねる。
- 6 「応募用紙」入手先  
〒272-0141 千葉県市川市香取二丁目1番16号  
公益財団法人 通信文化協会 博物館部（郵政博物館資料センター）内  
『郵政博物館 研究紀要』編集委員会
- 7 「応募用紙」提出方法および期限  
2018年6月29日（金）午後5時必着にて、氏名・連絡先等必要事項を記入した「応募用紙」を編集委員会宛に送付すること。
- 8 応募結果の通知  
提出期限内に到着した「応募用紙」に基づき、『郵政博物館 研究紀要』編集委員会において、学術的な視点からの審査を行い、投稿の可否について連絡する。
- 9 原稿提出方法および期限  
2018年11月9日（金）午後5時必着にて、MS-WORDで読み書き可能なファイル形式で作成したファイル（図を掲載する場合は原図ファイルを含む）を保存したメディア（CD-R等）および打ち出し原稿1部を提出すること。  
なお、原稿は完全原稿とすること。
- 10 原稿執筆要項（概要）  
原稿はパソコン使用のこと。  
文字量は、換算値として、論文原稿はA4用紙（1行40字×40行）15～20枚程度、研究ノート・資料紹介は、A4用紙（1行40字×40行）15枚以内とする。